

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

BPMCのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する急性遊泳阻害試験

試験番号

ET9801-2

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 202 「ミジンコ類、急性遊泳阻害試験および繁殖試験」 (1984年) に準拠して実施した。

- 1) 被験物質: B P M C
- 2) 供試生物: オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 3) 暴露方法: 止水式
- 4) 暴露期間: 48時間
- 5) 連数: 1濃度区につき 4連
- 6) 生物数: 20頭/1濃度区 (1連につき 5頭で 1濃度区 20頭)
- 7) 試験液量: 1容器 (1連) につき 100 mL (M4培地)
- 8) 試験水温: $20 \pm 1^{\circ}\text{C}$
- 9) 照明: 室内光, 16時間明/8時間暗
- 10) 給餌: 無給餌
- 11) 試験濃度: 対照区, 2.5, 3.5, 4.9, 6.9, 9.6, 13.4, 18.8 および $26.4 \mu\text{g/L}$
- 12) 試験液中の被験物質濃度の分析: HPLC法 (暴露開始時, 暴露終了時)

結 果

1) 24 時間暴露後の結果

24 時間半数遊泳阻害濃度 (EiC_{50}) = $14.9 \mu\text{g/L}$ (Probit 法)

最大無作用濃度 (NOEC) = $9.6 \mu\text{g/L}$

100% 阻害最低濃度 = $18.8 \mu\text{g/L}$

2) 48 時間暴露後の結果

48 時間半数遊泳阻害濃度 (EiC_{50}) = $14.4 \mu\text{g/L}$ (Probit 法)

最大無作用濃度 (NOEC) = $9.6 \mu\text{g/L}$

100% 阻害最低濃度 = $18.8 \mu\text{g/L}$

(上記濃度は、全て設定値に基づく値)